

# 第28回教育改革シンポジウム

## 今後の大学の授業のあり方を考える —学生の学びを真に引き出す対面と遠隔の組み合わせとは—

本学で1995年から毎年1~2回ずつ開催してきた教育改革シンポジウムは、今回で28回目となりました。今回のシンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大への対策を契機に遠隔授業が広く実施されることとなった状況を踏まえ、「今後の大学の授業のあり方を考える—学生の学びを真に引き出す対面と遠隔の組み合わせとは」を全体テーマとして開催することとします。

遠隔授業について、学生からは、自分のペースで学修できる、後から授業資料を見返すことができるなどの利点を歓迎する声がある一方で、課題提出だけで精一杯になりじっくり考える余裕がない、モチベーションを維持するのが大変といった不安の声も聞こえてきます。対面授業の実施は前期に引き続き、後期も限定的ですが、今後、対面授業が広く再開され、対面と遠隔の混合実施が実施される状況になることや、新大学でキャンパスが複数化され遠隔授業の重要性が増すことを見越して、対面授業と遠隔授業の組み合わせが学生の豊かな学びにとってどのような意味を持つのかについて考えておく必要があるかと思えます。

シンポジウムの講師には、教育学・大学教育学が専門の、大阪大学の村上正行先生をお招きすることとしました。村上先生は、大阪大学において遠隔授業が本格的に導入される際の、教員の支援体制の構築や遠隔授業に関するFD実施に携わってこられました。大阪大学では、「オンライン授業実践ガイド」などを学内外に公開されており、また、学会のシンポジウムなどでは対面と遠隔の組み合わせについてのご講演もされています。それらの知見や事例もご紹介いただきながら、当日は参加者の皆さまと今後の大学の授業の在り方について議論や模索を深めてみたいと思っております。ご多忙中かと存じますが、是非よろしくご参集いただければと存じます。

なお、当日は、本シンポジウムに引き続き関連するテーマでFD研究会も実施予定ですが、村上先生には、引き続きパネリストとしてもご参加いただく予定です。あわせて、皆さま、是非ご参加下さい。

日時

2020年11月2日(月) 13:30~15:05

[学長あいさつ・趣旨説明・講演・質疑応答]

(終了後、第18回FD研究会を開催)

講演題目

### 「対面授業と遠隔授業の混合実施における 学生の学びを考える」

講師 村上 正行 大阪大学 全学教育推進機構 教授

場所 オンライン開催

司会：橋本智也

オンライン運営：平知宏

企画：飯吉弘子・橋本智也

申込み 事前申込 定員300名 (対象：大阪市大・府大教職員)

WebClass 土曜5限「全学FD・SD事業および教育支援」から、もしくは

[こちら\(要Office365ログイン\)](#)、左記QRコードからお申込みいただけます。

■「第28回教育改革シンポジウムのみ」または「第18回FD研究会のみ」または「両方に参加」のいずれかで申し込みをお願いいたします。

お申し込み後にミーティングアドレス等をお知らせいたします。



申込み期限 **11月2日(当日)まで期限を延長いたしました**

主催

大阪市立大学 大学教育研究センター  
E-mail : event@rdhe.osaka-cu.ac.jp  
教育開発支援室(OCUラーニングセンター)

共催

大阪市立大学 全学共通教育教務委員会  
全学FD委員会・全学SD委員会  
遠隔授業プロジェクトチーム